



# 新鶴見小

江ヶ崎町2番1号 ☎583-8915

## スポーツフェスティバルを越えて、その次へ

副校長 岡村 眞

先月は、本校の最も大きな行事の一つであるスポーツフェスティバルが行われました。多くの方にご観覧いただきました。ありがとうございました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちは演技、競技、それぞれの役割などで生き生きとした様子を見せてくれていました。「またやりたい!」「楽しかった!」という子ども達の声が多く聞かれたことやスポーツフェスティバルの中で輝いた表情が見られたことは、教職員にとってこの上ない励みとなっています。私自身、本校での初の運動会でしたが、子ども達が本番で見た演技や競技の様子には心が揺さぶられました。練習に取り組む様子を見て、「本番が楽しみだな。」という思っていました。本番での姿は予想をはるかに上回るものでした。スポーツフェスティバルが、子どもたちにとって特別な行事であることは間違いありませんが、「またやりたい!」と思わず口にするような学習を行うということは、普段の学習においてもとても必要だと改めて感じました。

運営の面では、数年ぶりに入場に制限をかけない形で実施しました。PTA 役員の皆様のご協力のもと、保護者の皆様ができるだけ子どもたちの様子を観覧できる方法をとらせていただきました。本校の児童数、校庭の広さ、演技や競技の内容等を総合的に判断し、今年度のやり方にさせていただきましたが、アンケートでは様々なご意見をいただいております。より良い運営について、今後も検討していきたいと思えます。

スポーツフェスティバルという大きな山を一つ越えたところで、校内では学級目標を振り返ったりこれからの自分たちの成長について考えたりする様子が多く見られました。また、ここまでの学習の成果を11月18日の新鶴見文化祭で発信したり発表したりする学級があります。この時期に一度自分たちの集団や学習について確認することで、これから学年末までにどんなことを大切にするのか、これまでの成長を振り返ってここからどのようなことが必要なのかを考えることができます。このような成長や学習の確認により、残りの数か月の学習のめあてが具体的になり、充実した時間を過ごせることとなります。

今月は校外学習や外部の方を招いての学習が多くの学年で行われ、校外での活動や人とのかわりがあります。日常の学習では得られない体験や出会いを通じた活動を存分に楽しみ、その後の学習に生かしていきたいです。

朝は寒いくらいに冷えてきて、季節が急に進んだことを実感しています。朝の旗当番に向かうとき、「寒いのは嫌だな。」と思うことが増えました。9月までは「早くこの暑さが終わってほしい。」と思っていたのに、いざ寒くなるとわがままになってしまいます。毎朝の旗当番をしていてうれしいのは、あいさつを元気にする子どもたちと直接顔を合わせられることです。あいさつが返ってこないこともあります。より多くの子どもたちが朝からあいさつできる気持ちになるよう、これからの寒い季節も元気にあいさつをしながら見守っていきたく思います。ご家庭でも寒さに負けず元気に過ごせるよう、生活リズムの見直しなどよろしく願います。